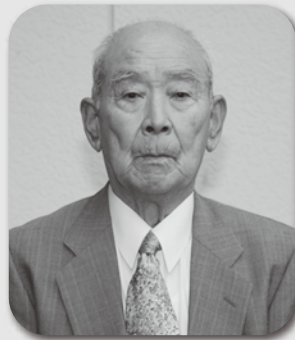


瑞宝双光章

大塚 三郎氏



平成23年春の叙勲において、大塚三郎氏（皆野）が瑞宝双光章を受章されました。

大塚氏は、昭和50年に法務大臣から委嘱を受け、以来25年間の永きにわたり、保護司として、罪を犯した人々の精神的な支えとなり、社会復帰のために、献身的な活動を積み重ね、地域社会へ大きく貢献されました。



「人権尊重社会をめざす

県民運動強調月間

8月1日(月)～31日(水)

児童・高齢者に対する虐待、女性に対する暴力、障害者の方への偏見からの差別など、さまざまな人権問題が増加しています。

また、インターネットを悪用した人権侵害など新たな人権問題も発生してきています。

「人権尊重社会をめざす県民運動」は、「すべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会」を実現するため、県民総ぐるみで取り組む運動です。

【人権啓発フェスティバル】の開催

日時 8月25日(木) 午前10時～午後4時30分

場所 大宮ソニックスティイ

内容 人権作文表彰・発表

人権講演会・生島ヒロシ

講演会・堀ちえみ

中島啓江ハートフルコンサート

入場料 無料

問合せ 県民生活部人権推進課

☎ 048183012255

人権作文

「つよい子は

やさしう」

三沢小2年

山口 55555

Kちゃんにはじめて出会ったのは、ようちえんの時です。

ようちえんバスで行った時のことです。ぼくはおかあさんといつまでもいたくてなきながら行っていました。

でも、ようちえんに行くときやみました。こんどはともだちができないかなと、とてもふあんでした。

そんな時、ぼくはKちゃんに出会いました。Kちゃんとなかよしになりました。ぼくはうれしくてKちゃんとまい日あそびました。

ある日から、二人でチャンバラぼうをつくりました。Kちゃんは、手先がき用なのでこうこくをほそくまるめることができず、ぼくは上手にできません。きれいにはれないし、しつかりしないぼうです。そうすると、Kちゃんがだまってぼくのチャンバラぼうをつくってくれました。

こんなかつこいいところもあ

ります。ぼくはいやなことがあるとかおやたいどに出てしまいます。いまでもがまんできないことがあります。Kちゃんはともだちにいやなことを言われても、じつとだまっついてびくともしません。ちよっとしたことでは、おこらないのです。

「つよい男はやさしい人のことだよ。」

と、おとうさんが言っていたことがあります。Kちゃんはそのとおりなので、つよい男の子なんだと思います。

Kちゃんは、ようちえんの時から、いまもかわらずやさしいです。そんなKちゃんが、大好きです。ぼくもKちゃんのようにともだちにやさしくできるようになりたいです。そうすればつよい男の子になれるはずですよ。

二年生になったいま、ぼくはKちゃんのおかげで、すこしつよい男の子になったのかなと思います。みんなとなかよくドッジボールをしたりします。サッカーがだいすきなので、だれとでもいっしょにサッカーをしています。ゴールするとみんなの手をはたいてよろこびます。もちろんKちゃんもうれしそうです。

